

令和5年9月21日

保護者 様

田村市立船引小学校長 佐久間 敏晴

福島県小学校長会『子どものネット・SNS利用の実態』
に関する調査結果』について

全国的にネットやSNS（「ライン」、メール、チャット、ゲーム内のチャットなど）をめぐる様々な問題が低学年から発生し、その対応が喫緊の課題となっております。

福島県でも、子どものネット・SNS利用は年々増え、問題も多数発生している状態です。特に、新型コロナウイルス感染防止のための臨時休業等をきっかけに、ネットやSNS等の利用が増え、様々な問題が起きているのではないかと懸念されています。

こうした状況を踏まえながら、子どもたちや保護者の皆様の負担も考慮して今年度も県内の約半数の小学生を対象に、ネット・SNS利用の実態を把握すべく、標記調査を実施いたしました。保護者の皆様におかれましては、調査へのご協力ありがとうございました。実施いたしました標記調査の県全体の結果については、別紙のとおりとなりました。

つきましては、ご家庭において、お子様への指導等に役立てていただければ幸いです。特に、「ご家庭でぜひ確認していただきたい、適切なネット利用の仕方」については、今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。

なお、本校では「船引小学校だより（No.4）」でもお知らせしましたが、ネットやSNS等を長時間（3時間以上）利用する児童が、特に休日で3割以上おり、県平均より多いことがわかりました。長時間の利用が脳などに悪い影響を及ぼすことが研究で明らかにされております。学校においては、今後も学年の発達段階に応じ指導に当たっていきたいと考えておりますので、ご家庭でも同様に指導していただければと存じます。

どうぞよろしくお願いいたします。